Ceilセーフ工法

スパンドレル天井の落下防止対策

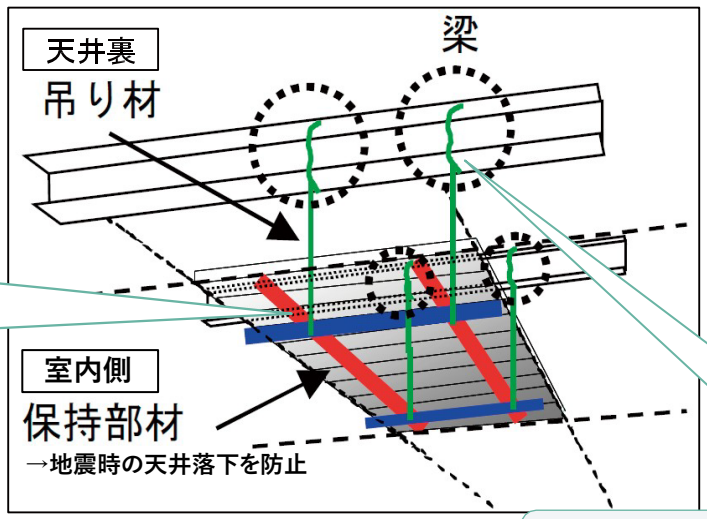
開発経緯

- 天井の地震対策
  - ＊　ブレース補強をはじめとする天井裏での耐震補強が主
- 現場の天井裏の状況によって・・
  - ⇒・既存配線、配管等により施工効率の低下
  - ・ブレース上部の躯体に追加補強の必要性
  - ・既存天井仕上げ材の一時撤去・復旧の必要性

→ 工事費の増大・工期の増長

特長

- 天井裏での作業が少ない簡素な構造形式 ⇒ **施工効率の向上による「コストダウン」「工期短縮」**
- 実物大の天井試験体を用いた大型振動実験による挙動の確認 ⇒ **地震時の安全性を担保**



吊り材下部
（ピン機構）





吊り材上部
（ピン機構）



ワイヤー等の吊り材で
梁等の上部躯体から
吊り下げる

採用実績

- JR東日本の駅舎で多数

適用条件

- 天井仕上げは金属系スパンドレルで天井重量（下地含む）100N/㎡以下
- 天井面水平、吊り材長さ一定

知的財産権

- 特許第6516413号

お問い合わせ

お問い合わせ	JR東日本 T&I推進本部 構造技術センター 03-6878-0017（代表）
製造・販売	SUS株式会社　エコムスグループ　03-5652-2393

資料提供：東日本旅客鉄道株式会社